

# 2023年第2回定例会の日程が決まりました

5月16日の議会運営員会で、新しい構成による初めての議会・第2回定例会（6月議会）の日程が決まりました。止まらない物価高騰の中、苦しい市民生活をどう守るのか、住民要求の実現に向けて、4月の市議選で掲げた公約実現の立場で、みなさんの声を議会へしっかり届けます。

率直なご意見・要望・実情など、お寄せください。

## 【日程】

### 6月16日 開会日・本会議

20日 一般質問 ①北川（熊自）②山内（市民）③高瀬（公明）

21日 一般質問 ①小佐井（自民）②いせり（共産）③筑紫（参政）

22日 一般質問 ①井坂（無所属）②島津（市民）③木庭（公明）

23日 一般質問 ①齊藤（自民）②村上（市民）③古川（自民）

26日 一般質問 ①落水（自民）

28日 予算決算委員会分科会・常任委員会（請願・陳情の趣旨説明）

### 7月4日 予算決算委員会・しめくくり質疑

6日 最終日・本会議（質疑・討論・表決）



\* 請願締め切りは、6月16日(金)午後5時  
\* 陳情締め切りは、6月22日(木)午後5時  
☆ 請願・陳情の趣旨説明は、6月28日  
分科会・常任委員会の冒頭になります。

## いせり栄次議員が一般質問を行います

日時：6月21日（水）午前11時10分～12時10分まで

場所：熊本市役所議会棟・本会議場（傍聴席は5階）

\* 取り上げてほしいテーマなど、ご意見をお寄せください。

\* 議場傍聴席での直接傍聴と、市議会HPのインターネット同時中継があります。

## 議会の傍聴について

● 本会議は、本会議場傍聴席（議会棟5階）で直接傍聴できます。

\* インターネット中継ならびに録画放映もあります。（熊本市議会HP）

● 委員会は、市役所議会棟のモニター傍聴とYouTube配信があります。

（モニター傍聴は、委員会毎に場所が違います。）

詳しくは、議会事務局へお尋ねください。☎328-2687

【控室から】  
豊かな緑の大地をこれ以上なくさないで  
いせり 栄次

風薫る5月。田植えのシーズンになりました。実家は高齢の兄夫婦が細々と米を生産しています。私も田植えと稲刈りは応援に行きます。どんなに収入が少なくても、田植え機、稲刈り機、トラクターなどの農業機械はそろえなくてはなりません。当然、赤字で跡継ぎもいない、しかし先祖代々の農地は守っていかねばなりません。歴代の自民党農政の無策で、食料自給率は最低レベルになっています。

ところが、驚いたことに政府が有事の際に花農家にイモやコメなどの作付けを強制する法制度を検討していることが衆議院の田村貴昭議員の質問で明らかになりました。

戦前をほうふつさせるような軍事体制国家づくりが食料分野でもすすめられています。資材高騰で廃業の危機にあえぐ農家支援こそ必要です。

緑の大地にたたくも身も心もリフレッシュできます。今年は田植えの応援ができませんが、その分6月議会で頑張ります。



上野みえこ  
（中央区）



いせり栄次  
（東区）

日本共産党  
熊本市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1  
発行：日本共産党熊本市議

NO. 1323  
2023年5月28日号  
電話 328-2656  
FAX 359-5047

メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党 熊本市議団



検索

# 「担任がない」「産休の代替教員が見つからない」

日本共産党熊本市議会だより 2023年5月28日号 (No.1323)

## 「教員不足」の解決へ、教員が安心して、誇りをもって働ける条件づくりを

### 2023年度も30人の担任不足でスタート

深刻な教員不足の中、2023年度も、30人の担任不足で新年度をスタートしました。

臨採配置、加配・教務等が担任、担任代行、配置手続き中など、対応はさまざまですが、未対応が11クラスもあります。

欠員に対しての対応が行われる一方、その後に産休・育休となったりするなど、昨年度は年度当初よりも、その後不足は増えています。

### すすまない教職員の「働き方改革」

教員不足の解消には、「働き方改革」が必要です。

熊本市は現在、「学校改革！教職員の時間創造プログラム」を策定し、教職員の「働き方改革」に取り組んでいます。しかし、時間外勤務1か月45時間を超える教職員を2023年度0人にする目標に対し、2020年度は

#### 【担任不足の内訳】

|     |     |     |
|-----|-----|-----|
| 小学校 | 22校 | 24人 |
| 中学校 | 3校  | 3人  |
| 高校  | 1校  | 3人  |
| 合計  | 26校 | 30人 |

\*事由別には、

欠員15名、病休3名、休職2名、産育9名、その他1名



2,289人。時間外勤務年間360時間を超える教職員を2023年度0人の目標に対し、2020年度は2,042人と、掲げた目標値に程遠い現状です。

退職者の再任用をすすめる、他県での教員採用試験の実施など、苦肉の策を講じていますが、本質的な問題は変わりません。

### … 日本共産党は提案しています！ …

#### 教員の働き方を改善するための抜本的な対策

- (1) 教職員定数を抜本的に増す
- (2) 私学での働き方改善のための私学助成を増す
- (3) 公立教員には残業代を支給しない「公立教員給与特例法」やめ、残業代を支給する制度を確立する
- (4) 学習指導要領を改訂し過密カリキュラムを緩和、授業準備の時間を確保

#### 教職員の働き方を改善する緊急の対策

- (1) 多すぎる業務量の断捨離の決断
  - 不要不急の業務の一旦中止・削減、初任者研修・年次研修を半分以下にする
  - 教職員評価制度を中止する
  - 部活動顧問の強要をなくし、土日の試合を減らす
- (2) たちちにできる教員増の手立て
  - 育児短時間勤務のための代替教員の配置
  - 60歳以降も給与を100%支給する
  - 経験豊かな非正規教員の正規採用
- (3) ハラスメントのない働きやすい場にする
  - 時短ハラスメントなどをやめる
  - 生活と両立しない人事異動をやめる
  - 夏休みなど長期休業期間中の自宅研修を保障する
- (4) 教員不足を解消する独自の手立て（働き方の改善以外）
  - 夏の採用試験をめざす、現在教職についていない大卒者への措置
  - 臨時免許、特別免許の適切な運営
  - 教育委員会事務局で働いている教員を教員不足の学校に派遣する
  - 教員の奨学金返還免除制度を復活する

